



会長 太田陽平
幹事 大畑好司
会報 猪股育夫

例会場 ホテルサンシャイン佐沼
☎22-8180 FAX22-0327
例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
事務所 ホテルサンシャイン佐沼
☎22-8180 FAX22-0327

ガバナー月信

佐沼RCホームページ

第2957回例会 2025. 6. 12 No.41

本日の出席率

・本日の出席率 100%

ニコニコボックス

- ・太田陽平会長 クラブ協議会、各委員長よろしくお願ひします。
- ・伊藤秀雄会員 次年度に向け、布施執行部の方々頑張ってください。
- ・大畑好司幹事以下 今年度最後の通常例会、クラブ協議会が終わるよう頑張りましょう。
佐藤敬喜会員 佐竹孝行会員 佐々木源悦会員
岩渕正彦会員 高橋利光会員 布施孝尚会員
菅原慶一会員 山田正会員 小野寺伸浩会員
富士原裕子会員 武川毅会員 及川昭宏会員
杉田広仁会員 及川富男会員 千葉正宏会員
加藤亮会員 伊藤幸子会員 佐藤哲弥会員
志賀昭洋会員 村上正弘会員 佐藤淳会員
岡本健一会員 千葉正洋会員
以上、ありがとうございました。

会長要件 太田陽平会長

残り2回の会長要件となりました。毎回何を話そうかと大変でしたが、楽しみでもありました。今日はゆっくりとお話させていただきます。
6月10日(火)、「入会3年末満会員向け研修」が早坂竜太ガバナーデジグネートを講師としてお迎えし、若鯨本館に於て開催されました。早坂デジグネートは古川東RC所属で、古川東RCから高橋会員もいらっしゃいました。早坂デジグネートは「ロータリー活動での経験について」お話になりました。会員増強委員会の志賀昭洋委員長が担当し、13名の会合でした。この日は若鯨さんは休館でしたが、急遽対応し開けていただきほんとうにありがとうございました。また、志賀昭洋委員長ご苦勞様でした。大変有意義な研修会で、佐

沼クラブも新入会員が増えてきましたので、このような研修をすることでクラブ運営をしっかりとやっていかなければと再確認をいたしました。

今日は6月12日。47年前、昭和53年（1978年）6月12日午後5時59分に宮城県地震が発生しました。宮城県沖を震源とする大規模な地震で、マグニチュード7.4で震源の深さが比較的浅かったため、地震動が広範囲にわたり特に東北地方に大きな影響を与えました。

私はまだ小学生でしたが建物の倒壊や橋、道路の被害があったことを記憶しております。私は今、建設業に携わっていますのでその観点からお話をさせていただきたいと思います。

宮城県沖地震の影響を受けて、日本の建築基準法は大幅に改正されました。特に耐震基準に関しては、これ以降の地震に備えるために重要な変更が行われました。

- ・耐震基準の強化：1978年の地震後、特に耐震設計に関する基準が厳格化された。それまでの建築基準法は地震に対する耐性が不十分とされ、耐震性を確保するための具体的なガイドラインが不完全でした。これを受けて、耐震性を高めるための設計や施工方法に関する規定が強化された。
- ・耐震改修の推進：地震後、既存の建物に対する耐震改修が進められた。特に古い建物の耐震性が問題視され、耐震診断や耐震補強工事が行われるようになった。
- ・新耐震基準（1981年）：新耐震基準では、建物が地震の揺れに対してどれだけ耐えるかを定め、より厳しい耐震設計が求められるようになり、地震の揺れを吸収する構造や、倒壊を防ぐための設計が強化。
- ・耐震基準の進化：宮城県沖地震は、日本における建築基準法の改正にとって重要な転換点となった。その後、日本では頻繁に大規模な地震が発生しており、建築基準法は何度か改正されているが、新耐震基準

は現在も多くの建物に適用されている。この変更により、日本の建物は他の地震多発地帯と比べても非常に高い耐震性を誇っている。

- ・建築基準法改正の具体的な変化

1. 耐震設計の基準強化：1981年の新耐震基準導入により、建物が倒壊しないことを最優先にした設計基準が確立された。動的解析を用いた地震力の算出方法や構造設計が導入され、より精密な耐震設計が可能
 2. 耐震診断・補強の義務化：古い建物に対して耐震診断を義務付け、必要な補強工事を進める動きが強化
 3. 耐震基準の見直し：阪神淡路大震災（1995年）後は、基礎や接合部の強化が求められ、さらに厳しい基準が導入された。東日本大震災（2011年）後、特に高層ビルや大規模施設に対する耐震基準が再評価され、耐震性能の向上が図られた。
- ・耐震性を確保した建物の普及：新耐震基準以降、日本の建物は地震に対する耐性が格段に向上し、倒壊しにくい建物が増加。特に都市部の高層ビルや公共施設は、地震に対する安全性が大幅に強化された。建築基準法の改正は、地震に対する耐性を高めるためのステップであり、特に1981年の新耐震基準の導入が大きな転換点となりました。これ以降、日本の建物は地震に強い構造を持つようになり、耐震設計に関する技術や基準が進化してきました。今後も地震のリスクに対して更なる強化が求められ、建築基準法は常に見直しが行われる重要な法律となっています。

幹事報告 大畑好司幹事

- ・6月5日(木)、佐沼高等学校ETA総会に出席した際校長より、60周年記念事業の寄付金贈呈に対しお礼の言葉をいただきました。
- ・川崎大師RCより 会報が届く

各委員会報告

- ・次年度関係（加藤亮次年度幹事）
 - 1) ポリオ撲滅募金 5/29、6/5の2回で28,219円のご協力をいただきました。本日まで受け付けます。
 - 2) 会員名簿作成のため、会員情報確認書をFAXさせていただきました。チェックをして返送をお願い致します。
 - 3) 新委員長会議のお知らせ
日 時 6月20日(金) 18:30~
場 所 ホテルサンシャイン佐沼
※次年度の事業計画を6/15までにご提出下さい。

クラブ協議会（担当：大畑好司幹事）その1

- ・会員増強委員会（志賀昭洋委員長）
今年度は、太田会長の掲げる「60周年・60名会員」を目指して会員増強を行ってまいりました結果、目標を達成することが出来ました。参加しやすいように活動を伝えながら出席率向上のためにフォローアップしていきたいと考えております。6月10日(火)新入会員の研修を開催しましたところ、13名の参加をいただき、

非常に内容の濃い研修となりました。

- ・社会奉仕委員会（伊藤秀雄委員長）
今年度一年間、皆様のご協力のもと、登米市湖沼群クリーンアップへの参加、歳末助け合いオークション、地域善行者表彰を行うことが出来ました。太田会長、布施副会長、佐藤敬喜財団委員長と情報を共有しながら進めてまいりました。
- ・姉妹クラブ委員会（菅原慶一副委員長）
今年度は60周年記念事業をとり行う年でありますので、記念式典への姉妹クラブの参加をサポートするというを中心に進めてまいりました。結果として三姉妹クラブと交流が出来るよう活動してきました。
3月9日~12日、台北西門RC48周年記念事業に参加（10名）、4月20日、余目RC55周年記念事業に参加（9名）。5月16日~17日、当クラブ60周年記念事業が挙行され、三姉妹クラブから多くのメンバーに参加していただき、ウェルカムナイト、祝賀会、姉妹クラブ交流会、大変盛り上がり友好を深めることができました。ご協力ありがとうございました。
- ・ロータリー財団委員会（佐藤敬喜委員長）
今年度は、当クラブ創立60周年記念式典が行われ、記念事業として、図書館への寄贈とロータリー財団、米山記念奨学会、佐沼高校ETAへの寄付をいたしました。これも皆様のおかげで実施することが出来ました。ありがとうございました。今年度の補助金は、来年度に受け取るようになっております。補助金の申請が多かったのと、コロナの影響で財団から地区への還付金が50%位の補助率でその分だけ予算的に厳しくなりましたが、太田会長はじめ皆様のご協力で、現在調整して来年度すぐに行う段取りとなっております。
- ・米山記念奨学会委員会（佐々木源悦委員長）
今年度は、寄付額2,000万円達成クラブということで、地区大会でガバナー賞を受賞いたしました。これは故鈴木彦太会員が地区委員長として活躍されていたので、その実績が大きいのではないかと考えています。今年度の事業計画を4つ掲げました。1番目の留学生の卓話は、10月3日、グエン・コック・グッドさん（築館RC）よりお話をさせていただきました。2~4も全て達成できました。ご協力ありがとうございました。
- ・次年度予算プログラム委員会（布施孝尚委員長）
事業の内容としては、次年度予算並びにプログラムの構成をする状況となっております。
今年度、次年度、次々年度の3年間の事業計画を立てる（3-Year Rolling Goals）で目標を立てています。ここ数年来RI人頭分担金の増額、各種負担金の増額、物価高騰等様々な要因で、次年度の予算組にも大きく影響すると思います。今年度は各委員会で検討し出来るだけ会員の方々の負担を増やさないように工夫して事業を進めていただいております。
次年度は、11/8(土)に久々にIMが開催されることになっており支出が増えます。このような状況の中で、収入、支出の均衡をはかり、無理のないプログラムを構成したいと考えております。ご協力の程お願いいたします。